

南千住糞尿取扱所

昭和18年(1943)から23年(1948)まで隅田川にかかるJR南千住東側のガード下「今のメトロ電車庫」

の前にかけて糞尿の汚船への積み換えと家庭ごみの積み出し場所があり従事者の方々の大変なご苦労がありました。大正12年(1923)に三河島汚水処理場が竣工し衛生面の発展がやっと見られました。当地では昭和30年代に入り、少しずつ水洗化されるようになりました。

南千住において上水道は大正12年頃から始まったように、私の母が大地震の時に工事用の鉄管に足をとられて転んだと話していました。下水道は昭和6年(1931)に工事が始まっています。

☆六郎が語る 南千住一口話 第72回

今の快適なトイレしか経験のない人にはわからないと思いますが、かつては、各家庭の汲み取り口から便所ガメの糞尿を長柄ひしゃくで取り出して入れた肥桶を大八車に10〜12コ積んで取扱い所へ集めて、今のダルマ船より小型な伝馬船「平水船」とか「高瀬船」とも呼ばれた底が平らな船を3隻位つないでエンジンつきの引き船で曳航して行き各農村へ配り、一部は海洋投棄を行ってきました。平成9年より糞尿投棄が

廃止になり平成11年には汚泥なども投棄が廃止になりました。平水船「葛西船」の実物大の模型はお花茶屋にある郷土と天文の博物館に詳しく展示されています。

さて、川岸に設置された水槽に各町内から集まって来た糞尿の入った桶を持ち上げて入れると桶くわを通して汚船おおいせんに流れ込む仕掛けになっていました。このまわりには、いつもカモメが群がって糞尿から逃げ出す無数のウジ虫を食べに来ていました。各家庭の生ゴミも大八車の東京都のマークのついたカゴで運ばれて船積みされていました。現在、各家庭のゴミの多いこと「モツタイナイ」の当時の精神はどこへ行ってしまったのでしょうか？まだ食べられる物まで期日が来たからと捨ててしま

い、まだ着られる衣類まで流行の名のもとに捨てています。こんな生活で良いのでしょうか？やがて戦時中の生活の苦しい時代が来るような感じがしてなりません。「モツタイナイ」の言葉をかみしめて下さい。

仙成こと杉山六郎

★南千住史跡巡り★

6月24日(日)午後4時

JR南千住駅改札口前

杉山六郎さんの解説で史跡巡りを致します。定員10名(参加費無料)

お申し込みは、(3803) 5210



皆さんご機嫌いかがですか？

カゼをひいたわけでもないのにだるい、頭が痛い、なんとなく体の調子が悪いという声をよく耳にします。私もなんとなく頭痛の回数が増えました。最近では日中暑いのに、朝晩と

気温が下がったり、雨が降ると寒くなったりとお天気も不安定。陽気のせいだわ、しょうがないと諦めがちですね。でもそんな午後のひと時、ハーブティで気分転換してはいかがですか？カフェインもなく体に優しい飲み物です。

◇メリッサ(シソ科) レモンバーム 神経衰弱、不安神経症、消化器系、アレルギーによいです。ふさぎこんでいる時など元気づけてくれます。

◇ボダイジュ(葉・花)

入眠作用があり神経をやわらげられます。よく眠れない方にはとてもよいです。当店が一番リピーターが

多いハーブです。

◇バジル(シソ科)

イタリア料理やフランス料理に欠かせない香味野菜の一つでバジリコ、メボウキともよばれます。神経からくる頭痛や不眠などによくおだやかなハーブで中高年の方によいです。

飲み方

ポットに選んだハーブ(3〜4種)を一つまみづついれ、熱湯を350CC注ぎ4〜5分おいたら飲み頃です。

6月23日(土曜)午後1時〜2時ハーブ教室開催します。こちらのハーブティと記憶力を高める！さわやかバジルスプレー。

会費千五百円要予約。ラボンヌオカモト店内にて。

◇ラ・ボンヌオカモト◇
TEL 3801-4725

営業時間 AM10時〜PM8時

定休日 水曜日

